

大雪山の火山活動解説資料（平成28年12月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気などの表面現象の状況（図 1-①、図 2）

旭岳地獄谷爆裂火口の噴気の高さは火口上100m以下で、噴気活動は低調に経過しました。

・ 地震及び微動の発生状況（図 1-②）

火山性地震は少なく、地震活動は低調に経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

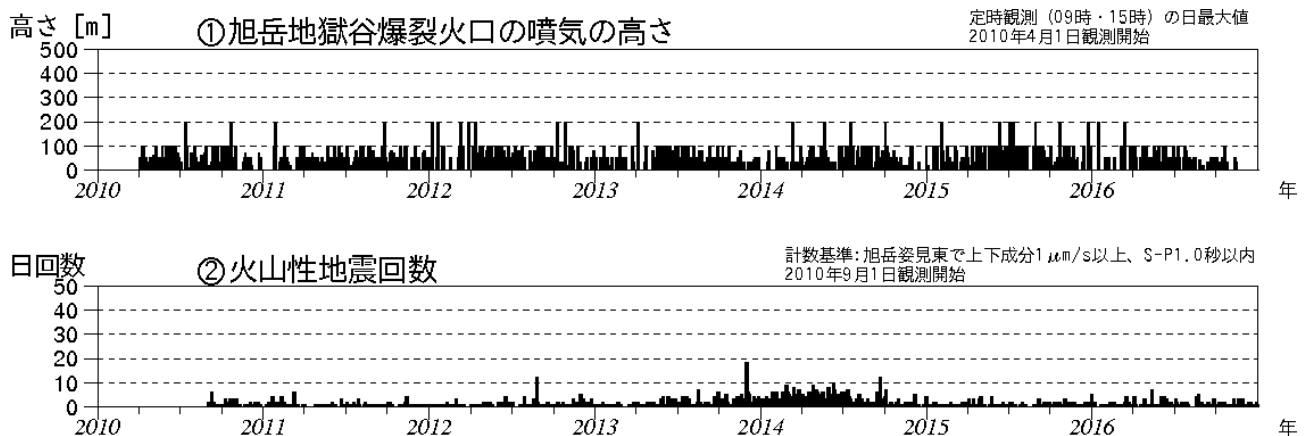


図 1 大雪山 火山活動経過図（2010年 4 月～2016年12月）

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平 26 情使、第 578 号）。

次の火山活動解説資料（平成29年 1 月分）は平成29年 2 月 8 日に発表する予定です。



図 2 大雪山 西側から見た旭岳の状況（12月15日、忠別湖東監視カメラによる）
ちゅうべつこひがし

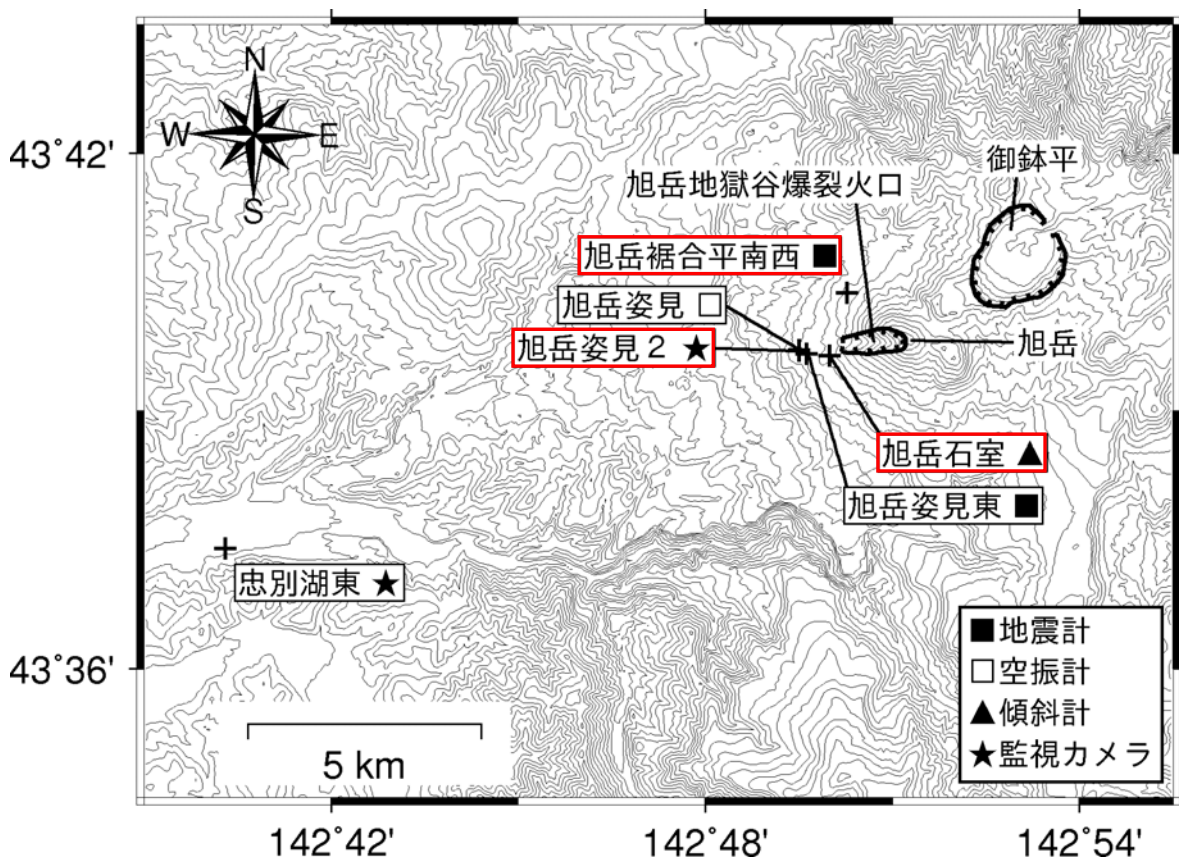


図 3 大雪山 観測点配置図
+印は観測点の位置を示します

□：2016 年 12 月 1 日から新たに運用を開始した観測点

気象庁観測点一覧表 大雪山（緯度・経度は世界測地系）

2016 年 12 月 1 日から新たな観測点の運用を開始しました。

記号	測器種類	地点名	位置				観測開始日	備考
			北緯(度分)	東経(度分)	標高(m)	設置高(m)		
■	地震計	旭岳姿見東	43 39.66	142 49.62	1607	0	2010 年 9 月 1 日	
		旭岳裾合平南西	43 40.37	142 50.26	1709	-2	2016 年 12 月 1 日	広帯域
□	空振計	旭岳姿見	43 39.7	142 49.5	1592	7	2010 年 9 月 1 日	
★	監視カメラ	忠別湖東	43 37.4	142 40.3	430	13	2010 年 4 月 1 日	可視
		旭岳姿見 2	43 39.7	142 49.5	1596	27	2016 年 12 月 1 日	可視、熱映像
▲	傾斜計	旭岳石室	43 39.6	142 50.0	1677	-15	2016 年 12 月 1 日	

□：新たに運用を開始した観測点

広帯域地震計：噴火に先行して発生する可能性のある低周波地震や傾斜変動等を精度よく捉えることが出来る地震計